

1040 ¹²³I-MIBGを用いた起立性低血圧における心交感神経機能の評価

大森久司、羽野卓三、太田明廣、橋爪俊和、笹島久司、谷河浩二、馬場 章、有田幹雄、西尾一郎、*山元和巳、*鳥住和民（和歌山医大循環器内科、*同放射線科）

血圧調節異常には交感神経の機能が関与すると考えられる。そこで、種々の起立性低血圧患者に¹²³I-MIBGを用いた心筋シンチグラムを施行し、心交感神経機能の評価した。症例は、特発性起立性低血圧2例、抗鬱薬による薬剤性起立性低血圧1例である。特発性起立性低血圧では、自律性機能検査により中枢および圧受容体反射弓遠心路の異常が認められた。特発性起立性低血圧例では¹²³I-MIBGの摂取は認めず心の描出はできなかった。薬剤性起立性低血圧例でも著明な摂取の低下を認めた。¹²³I-MIBGは、本症における心交感神経機能の評価にも有用と考えられる。

1041 急性心筋梗塞I-¹²³I-MIBG心筋縦隔比に関与する因子の検討—心筋全体縦隔比、梗塞部心筋縦隔比、および非梗塞部心筋縦隔比と梗塞サイズとの関連—

谷島進太郎、渡辺佐知郎、松尾仁司、加納素夫、西田佳雄、松原徹夫、松野由紀彦、小田寛、琴尾泰典、大橋宏重、後藤明、近藤紀博、牧田一成、渡辺浩志、
（県立岐阜 循・中放）石黒源之（平野総合病院内科）
AMI梗塞部及び非梗塞部のMIBG取り込みの心機能と関連を検討するため、42例に対し発症10日前後でMIBGを撮像、4時間後の心筋縦隔比(H/M)を心筋全体(WH)梗塞部(IF)非梗塞部(NON)に心筋ROIを設定して求めCPK peak値、LVGより求めたLVEF、SEVERITY INDEX(SI)、梗塞部WMI、非梗塞部WMIと対比した。H/M-WH、H/M-IFはCPK、EF、SIと有意な関連を認めた。一方H/M-NONにおいても、EF、SIと有意相関を認め、非梗塞部においても心筋MIBG取り込みが心機能の悪化と共に低下する事が明らかとなった。